

会計名等	水道事業会計		設置目的	安全でおいしい水を供給する。			
決 算	項 目		令和元年度	平成30年度	増減		
	収益的収支 (税抜)	収入①		549,632,798	543,313,810	6,318,988	
		主な内訳	給水収益	401,145,854	402,833,683	△ 1,687,829	
			長期前受金戻入	71,607,933	109,762,350	△ 38,154,417	
			資本費繰入収益	44,918,000	-	44,918,000	
		支出②		574,281,753	550,573,781	23,707,972	
		主な内訳	原水及び浄水費	125,444,811	118,571,658	6,873,153	
			資産減耗費	22,266,554	1,204,656	21,061,898	
	支払利息及び企業債取扱諸費		56,248,358	60,051,198	△ 3,802,840		
	純損益 (①-②)		△ 24,648,955	△ 7,259,971	△ 17,388,984		
	資本的収支 (税込)	収入③		181,844,720	104,489,680	77,355,040	
		主な内訳	企業債	169,300,000	47,300,000	122,000,000	
			他会計出資金 (一般会計繰入金)	1,004,000	8,880,000	△ 7,876,000	
		支出④		395,683,607	273,550,068	122,133,539	
主な内訳		拡張改良費	122,739,093	57,201,898	65,537,195		
		浄水場整備費	51,179,700	8,659,440	42,520,260		
		元金償還金	195,756,312	182,882,680	12,873,632		
収支不足額 (③-④)		△ 213,838,887	△ 169,060,388	△ 44,778,499			
決算概要	<p>【決算の特徴】 <収益的収支> ・年間有収水量の減少に伴う給水収益の減に加え、下水道管渠整備に伴う水道管移設により資産減耗費が増となったことなどから、収支差引は、対前年度比17,389千円の減となる24,649千円の損失計上となった。 <資本的収支> ・石綿管布設替の実施 (拡張改良費) 及び浄水場 (栗田、波見谷、日置、田原) の設備更新 (浄水場整備費) などにより収入、支出ともに増額となり、収支差引は、対前年度比44,778千円の減となる213,839千円の不足となった。 【特記事項】 令和元年度末起債残高：4,027,418,192円 (対前年度比 △26,456,312円)</p>						
備考	・資本的収支の不足額については、減債積立金 (10,000千円)、建設改良積立金 (10,000千円)、消費税調整額 (14,209千円)、損益勘定留保資金 (179,630千円) で補てんした。						
担当部署	建設部 上下水道課 管理係			TEL	45-1633	特9	